

## 2021年度（総合型選抜）AO 選抜入学試験 文学部

### 地域研究学域 「マップ・リーディング方式」

---

#### 【選考講評】

#### 1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
地域研究学域	13	13	11

#### 2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>

##### (1) 評価ポイント

調査書からは科目の履修状況・成績・評定平均値などをもとに高校での学習状況を把握し、エントリーシートからは志望理由、入学後に学びたいと考えている分野やテーマなどを確認しました。その際に、当学域と関連付けて、具体的にどのような学びや希望を学生生活で実現しようと考えているのか、また卒業後の将来計画をどのように描いているのかにも着目しました。課題レポートに関しては、地域的事象・地図についての基礎的学力が活かされているか、地域研究的視点からの洞察と説得的な論理展開がなされているか、そして地図・写真をしっかりと活用したレポートとなっているかなどに関して評価しました。

##### (2) 解答状況

エントリーシートには、当学域の学びと関連付けて、高校における学習状況、特筆すべき活動、志望動機などが具体的に記述されていました。課題レポートの中には、地図・写真の活用法や文章との対応が不十分で地域紹介程度のものが見受けられましたが、中には地理的事象を的確かつ論理的に説明するといった課題レポートの出題意図に沿ったものもありました。地図と写真をうまく活用し、地域研究的な視点から、地域の特徴を論述することを心掛けて下さい。

#### 3. 第二次選考

##### (1) 評価ポイント

読図を通して、地図に描かれた範囲が、どのような地理的な特徴をもつ地域であるのか、現在までにどのような変化が認められるのか、さらには、考えられる背景・要因は何であるのかといった点についての的確に記述し説明できるのかを評価のポイントに据えました。

##### (2) 解答状況

解答からは、多くの受験者が読図に苦労している印象を持ちましたが、地理的な関連性を読み解いて対象地域内の事象とその変化を説明できているものも見受けられました。また、地図の表面的な読図は出来ていますが、その特徴や背景を適切に記述できていないも

の、文章の論理的展開や説得性が不十分なものもありました。

### (3) 試験（面接）内容

マップ・リーディング試験の解答（レポート）に関して、基礎知識の確認に加えて、記述内容について説明するよう求めました。また学域の志望動機と入学後の学習・研究計画について問いました。さらに、これまでの様々な社会的活動の経験について、問いました。

### (4) 出題（面接）の意図

マップ・リーディング試験解答（レポート）の説明では、地域研究的な問題意識や知識を活かした見方をもって解答に取り組んだかを問いました。

### (5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

地域の景観や変化を具体的に読図できるよう、普段から身近な地域の地図資料を観察し、地図記号と景観との関係を丁寧にみることをお勧めします。また、試験に臨む際には、これまでに習得した知識を活用し、全体と部分をバランスよくとらえ、地域性を把握できるよう日頃から勉強することを心掛けて下さい。そして、それらを的確に文章等で表現できる能力も磨いてほしいと思います。入学後、地域研究を行うにあたって、率先して同級生をリードしていく意気込みのある熱心な受験生を期待しています。

以上